

世界経済フォーラム（WEF）  
国際競争力レポートにおける  
イノベーションランキングの  
現状の分析について

内閣府

政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

# WEF 国際競争力指標 (Global Competitive Index (GCI))

- 世界経済フォーラム (WEF) の国際競争力レポートにおいては、国際競争力指標 (Global Competitive Index : GCI) に基づき、**各国の生産性の決定要因となる競争力を毎年評価**。
- GCIでは、3つの構成要素からなる12の柱項目について評価点 (スコア) を算出し、それらを一定の重みづけにより平均した総合評価点に基づき決定。
- 各柱項目は下位のサブ項目からなり、それらサブ項目の評価点により各柱項目のスコアを算出。  
**イノベーションは12の柱項目のうちの1つで、その順位をイノベーションランキング**と称している。

## 国際競争力指標(GCI)

### 基本的な構成要素

制度

インフラ

マクロ経済環境

健康と初等教育

### 効率性に影響する 構成要素

高等教育と訓練

財市場の効率性

労働市場の効率性

金融市場の洗練度

技術成熟度

市場規模

### イノベーションと 洗練度の構成要素

ビジネスの洗練度

**イノベーション**

# イノベーションランキングの経年推移

- トップ3はここ4,5年、同じ国々で、順位の入替わりが続く。
- 日本は、昨年までは4位から5位の間にて推移していたが、**2016-2017年版では8位に後退。**

WEF “The Global Competitiveness Report”の年版							
順位	2010-11	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17
1	米国 (5.85)	スイス (5.77)	スイス (5.78)	フィンランド (5.79)	フィンランド (5.78)	スイス (5.76)	スイス (5.80)
2	スイス (5.60)	スウェーデン (5.76)	フィンランド (5.75)	スイス (5.70)	スイス (5.70)	フィンランド (5.73)	イスラエル (5.73)
3	フィンランド (5.56)	フィンランド (5.72)	イスラエル (5.57)	イスラエル (5.58)	イスラエル (5.56)	イスラエル (5.65)	フィンランド (5.68)
4	<b>日本 (5.52)</b>	<b>日本 (5.59)</b>	スウェーデン (5.56)	ドイツ (5.50)	<b>日本 (5.54)</b>	米国 (5.58)	米国 (5.64)
5	スウェーデン (5.45)	米国 (5.57)	<b>日本 (5.54)</b>	<b>日本 (5.49)</b>	米国 (5.49)	<b>日本 (5.54)</b>	ドイツ (5.58)
6	イスラエル (5.30)	イスラエル (5.53)	米国 (5.50)	スウェーデン (5.43)	ドイツ (5.47)	ドイツ (5.51)	スウェーデン (5.49)
7	台湾 (5.29)	ドイツ (5.39)	ドイツ (5.42)	米国 (5.37)	スウェーデン (5.37)	スウェーデン (5.46)	オランダ (5.44)
8	ドイツ (5.19)	シンガポール (5.33)	シンガポール (5.39)	台湾 (5.25)	オランダ (5.25)	オランダ (5.37)	<b>日本 (5.43)</b>
9	シンガポール (5.04)	台湾 (5.27)	オランダ (5.31)	シンガポール (5.19)	シンガポール (5.18)	シンガポール (5.24)	シンガポール (5.33)
10	デンマーク (4.89)	デンマーク (5.10)	英国 (5.17)	オランダ (5.16)	台湾 (5.10)	デンマーク (5.11)	デンマーク (5.13)

※各年版のWEF“The Global Competitiveness Report”のイノベーションランキングより内閣府作成。  
 カッコ内の数値はスコア

# イノベーションランキングのサブ項目のスコアの経年推移（日本のみ）

- イノベーションランキングの7つのサブ項目のうち6つは調査対象国の企業経営者へのアンケート結果を点数化したもの。
- 日本は、Capacity for innovation（イノベーション能力）のスコア・順位が2013-2014年版以降低下傾向にある。

企業経営者  
へのアンケート  
結果による。

特許に関する  
実数調査  
結果による。

サブ項目	WEF “The Global Competitiveness Report”のイノベーションランキングでのスコア（順位）						
	2010-11	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17
12.01 Capacity for innovation (イノベーション能力)	5.8 (1)	5.8 (1)	5.9 (1)	5.6 (6)	5.4 (7)	5.3 (14)	5.1 (21)
12.02 Quality of scientific research institutions (科学研究機関の質)	5.3 (15)	5.5 (11)	5.6 (11)	5.7 (9)	5.8 (7)	5.8 (7)	5.7 (13)
12.03 Company spending on R&D (企業の研究開発支出)	5.9 (3)	5.9 (1)	5.8 (2)	5.7 (2)	5.8 (2)	5.7 (2)	5.6 (4)
12.04 University-industry collaboration in R&D (研究開発における産学連携)	4.9 (19)	5.1 (16)	5.0 (16)	5.0 (17)	5.0 (16)	5.0 (16)	4.8 (18)
12.05 Government procurement of advanced technology products (先進技術製品に対する政府調達)	4.1 (41)	4.1 (32)	3.8 (48)	3.9 (37)	4.1 (21)	4.1 (14)	4.0 (16)
12.06 Availability of scientists and engineers (科学者・技術者の有用性)	5.8 (2)	5.8 (2)	5.7 (2)	5.5 (4)	5.4 (3)	5.6 (3)	5.5 (3)
12.07 PCT Patent applications/million pop. (人口100万人あたりのPCT国際出願件数) ※2011-12年版より以前は、“USPTO Patents grants” (人口100万人あたりの米国特許商標庁登録特許数)	279.1 (2)	352.9 (2)	210.7 (5)	258.4 (4)	308.2 (2)	334.9 (1)	335.4 (1)

※各年版のWEF “The Global Competitiveness Report”のイノベーションランキングより内閣府作成。カッコ内の数値は順位。

※データ出典元：12.01～12.06まではWEF “The Executive Opinion Survey”による調査対象各国の企業経営者へのアンケート調査（日本では毎年100名程度が回答）を点数化。12.07はUSPTOやWIPO等からの実数調査。

# Capacity for innovation（イノベーション能力）の質問内容の変更

- Capacity for innovation（イノベーション能力）の順位が大きく低下した背景には、**2013-2014年版以降に本サブ項目の質問内容が変更されたことが影響している**可能性。
- **2012-2013年版までは自前の研究開発能力を問うものであったが、2013-2014年版以降はイノベーション能力を問うものとなっている。日本の企業経営者の自国の企業への評価が低下し、順位低下となった**可能性。
- **研究開発の成果を社会的価値につなげる力やオープン・イノベーションに対する日本の弱みを示している**可能性。

## 2012-13年版までの質問項目 (Capacity for innovation)

「自国の企業が、どのように**技術を獲得**しているか？」

1点：全ての技術がライセンス取得  
もしくは海外企業の模倣による。



7点：全て自前で研究開発を実施。  
(高得点ほどランキングは高くなる。)

**自前の研究開発能力について問われていた頃には、自国の企業について高い評価を与えていた。**



**「イノベーション能力」について高い順位とスコアにつながっていた。**

## 2013-14年版以降の質問項目 (Capacity for innovation)

「自国の企業が、どの程度**イノベーション能力を保持**しているか？」

1点：全く有していない。



7点：大いに有している。  
(高得点ほどランキングは高くなる。)

**自前の研究開発能力ではなく、イノベーション能力について問われるようになった。自国の企業について、それに対する評価が下がってきている。**



**「イノベーション能力」に対するスコアと順位が低くなってきている。**

# イノベーションに関する他のランキング

- より定量的・客観的な指標を中心としたWEF以外のランキングでは、日本の順位は上昇又は水準維持。

(各ランキングにおける日本の順位の経年推移)

## Global Innovation Index (GII : 技術革新力指標)

(コーネル大学、欧州経営大学院 (INSEAD)、世界知的所有権機関 (WIPO) )

**「イノベーション」「競争力」「ナショナルイノベーションエコシステム」を測定。**

2012	2013	2014	2015	2016
<b>25</b>	<b>22</b>	<b>21</b>	<b>19</b>	<b>16</b>

GII : 82の調査項目のうち、アンケート調査は5項目 (2016年版)。

## World Competitiveness Yearbook(WCY : 世界競争力年鑑)

(国際経営開発研究所 (IMD) )

**「競争力」(企業が競争できる環境を創出・維持する国の能力) を測定。**

2012	2013	2014	2015	2016
<b>27</b>	<b>27</b>	<b>21</b>	<b>27</b>	<b>26</b>

WCY : 342の調査項目のうち、アンケート調査の項目は3分の1 (2017年版)。